



特集

元気な集落を目指して

有漢町川関地区での座談会(1月15日:川関集落センター)

集落活性化支援事業

農山村地域で暮らす私たちにとって、集落は生活の基礎的単位であり、一番身近な社会です。

しかし、過疎化・高齢化により、集落機能の低下が進み、全国には集落として存続が困難になっている地域も増えています。

市は、地域住民が今までどおり集落を基本に、生きがいを持って豊かに暮らしていくことができるよう、取り組みを進めています。

現状

市内には約800の集落がありますが、そのうち戸数が19戸以下で65歳以上が半数を超える「小規模高齢化集落」が225にものぼっており、地域活力・集落機能の低下などさまざまな課題が生じてきています。

何かを行うとき「集落で支え合う(互助)」という考え方は、私たちにとっての基本であり、とても大切なことです。日常の支え合いのほかにも、地域独自の伝統行事や歴史・文化の保護・伝承、森林や農地の機能維持など、集落として果たすべき役割は、大きく多岐にわたっています。

す。

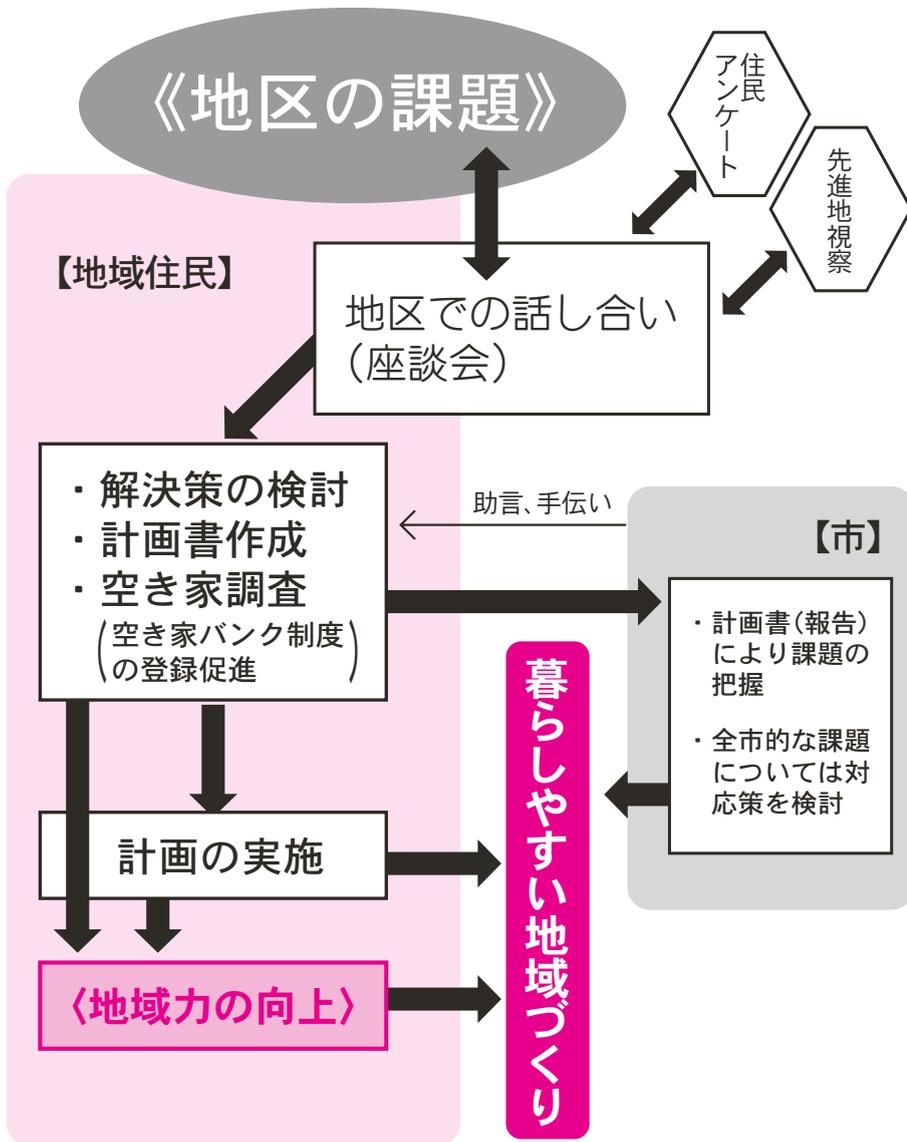
本市は、「定住促進」を重要施策の一つと考え、積極的に取り組んでいます。中でも集落機能の強化、活性化が重要と考え、町内会や集落営農組織などを通じて「小規模高齢化集落」の情報収集に努めるとともに、市の人口問題に関する考え方など、積極的な情報提供も行っているところです。

「集落活性化支援事業」とは

本事業は、生活面や営農面の課題を把握し、近隣の集落などとの連携により集落機能を補完・支援していく体制づくりを



集落活性化支援事業イメージ図



☑

目的としています。

市内にモデル地区を設定し、集落点検を実施する中で、人口減少・少子高齢化が地域に与える影響などを住民の皆さんに把握していただきます。

その上で集落活性化に向けて、「地区で何ができるか」を話

し合い、具体的に事業を立案し、取り組んでいくものです。

進め方

①モデル地区の選定

モデル地区は、「隣接している」など、以前からつながりや

交流のあった区域から選定します。

各地域局・地域市民センターから集落等への呼びかけを行った結果、今年度は、市内4地区が取り組んでいます。

②アンケート調査の実施

住民の皆さんの話し合いによ

り、地区の現状を把握するとともに、抱えている課題や問題点を抽出するため、地区全体へのアンケート調査を実施します。

内容については、広域の自治組織の育成という観点から、農地や地域資源を守り活用すること、定住促進などに重点を置きます。

③座談会、空き家調査

抽出された課題や問題点について、地区での話し合いによって地区内での解決策を探っていきます。

またこの時点で、ほかの地域からの移住や交流を図るため、地区の空き家調査を実施します。

④行動計画

現在の取り組みの充実、新たに取り組んでいく独自の事業などをまとめ、それをもとに活性化に向けて行動します。

⑤行政の支援等

地区だけでは解決できない問題・課題については、その緊急度も考慮し全市的なハード・ソフトの支援制度を確立していきます。